

【バレーボール】

1 参加規定

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

(1) 当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び、（公財）日本中体連バレーボール競技部競技規則に準じて行う。

※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレイスメント」ルールで行う。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

(2) ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。

(3) ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールとする。

(4) ラインアップシートは、試合ごとに作成し、提出すること。

(5) ベンチに入れる者は、選手12名以内と監督、コーチ、マネージャー（生徒に限る）各1名とする。

監督・コーチは、当該チームの代表者・校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。学校のチームにおいてコーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者（コーチ）証をつけること。

※ 監督・コーチの服装は、統一されたものとする。（短パン・ランニングは不可）

(6) ユニフォームについては、規定を遵守すること。

（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

(7) 3位決定戦は行わない。

(8) 「給水のためのタイムアウト」及び「熱中症対策としての団扇使用」を採用する。

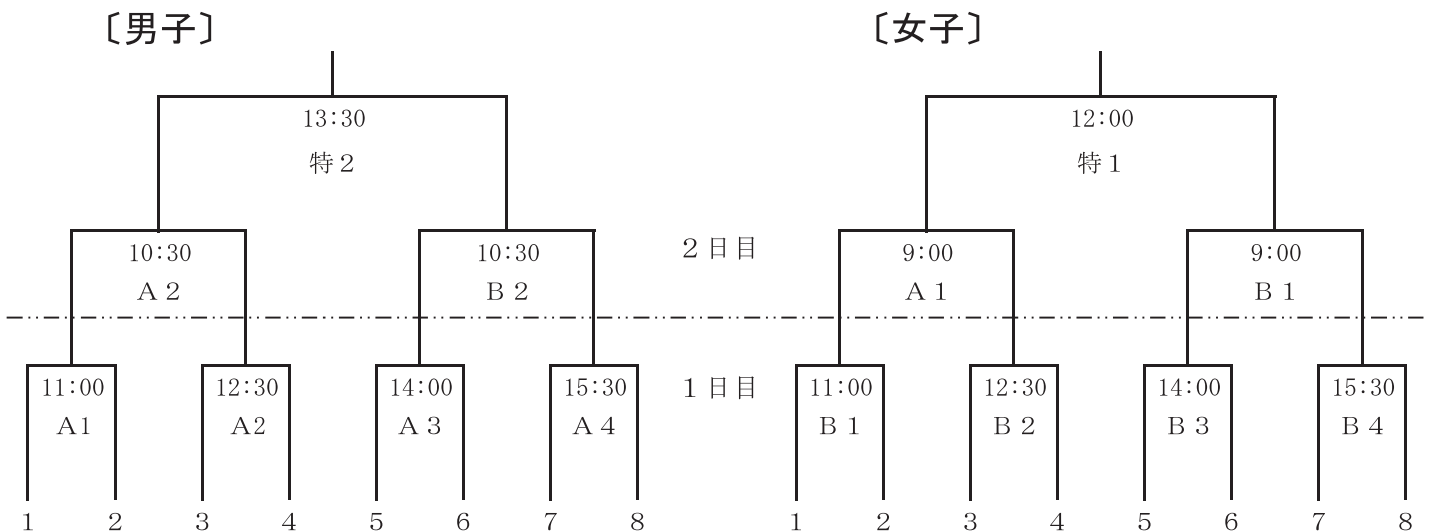
（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

3 競技方法

(1) トーナメント方式とする。

(2) 設定時刻は、試合開始時刻とする。

(3) 組み合わせ



【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8組。各県の個人戦の成績順位で、上位8組を選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の(公財)日本ソフトテニス連盟競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球(白)を使用する。団体戦は男女ともダンロップボール, 個人戦は男子ケンコーボール, 女子アカエムボールを使用する。

(3) ユニフォームは, 上は半袖のスポーツシャツ(襟なし可), 膝より上のパンツ, スコート(ショートパンツ)を着用すること。

[注意] 服装(用具を含めて)の色等は華美にならないようにする。

(アンダーウェアは黒、白、ベージュ色の単色とし、文字(メーカーロゴ除く)や模様のないものとする。)

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) 監督がベンチに入る時は, スポーツウェアを着用し, テニスシューズを必ず履くこと。また, 監督は常にIDを付けること。ゼッケンは不要とする。

(6) 外部指導者(コーチ)のベンチ入りを認める。IDの他に【外部指導者(コーチ)証】を所持すること。

(7) 選手変更について

① 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は, 「変更届」を監督会議で提出する。

② 団体戦で, 申し込み後, メンバーを変更し直す場合は, 「変更届」を監督会議で提出する。

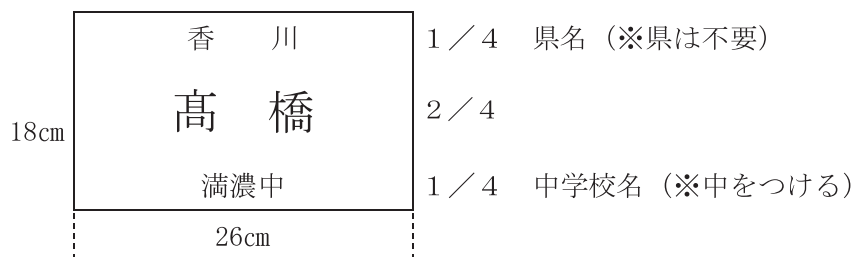
(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し, 使用してはいけない。ただし, ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し, 背中の中央につける。ただし, 四隅を留めるものとする。

① ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に都道府県名, 姓, 学校名(地域クラブ活動名)を3段で記述する。また, 県名の「県」の文字はつけず, 中学校の「中」の文字はつけるものとする。

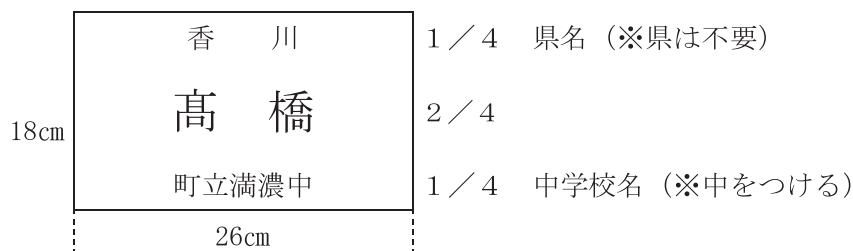
② ゼッケンの文字は「漢字」, 「ひらがな」, 「カタカナ」を使用し, 文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



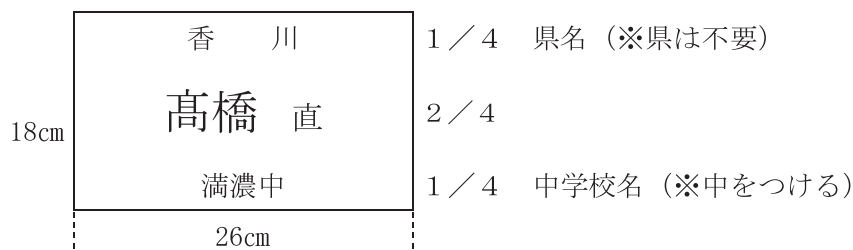
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例2》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正



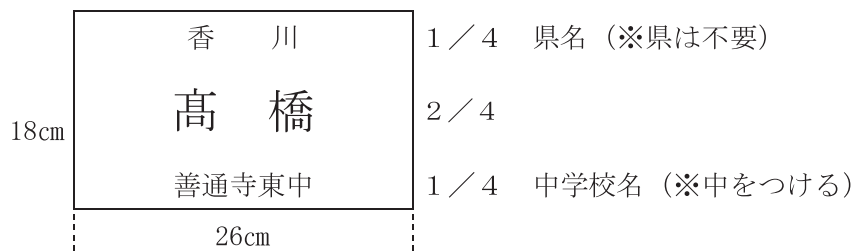
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例3》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 直子



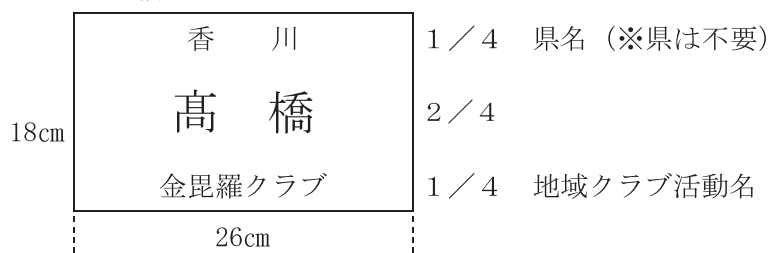
- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》香川県 善通寺市 善通寺市立東中学校 高橋 正



- ⑥ 地域クラブ活動の場合

《例5》金毘羅クラブ 高橋 正



3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各8校（監督1名と選手6名で1チーム編成登録8名以内）によるトーナメント方式の団体点取法。※必要最低選手数4名
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各32組によるトーナメント方式。
- (3) 個人戦が重なった場合のみ、当該校の教員（部活動指導員）及び各県ごとに登録された外部指導者（コーチ）を監督として複数付けることができる。
- (4) その際には、監督追加届を提出すること。
- (5) ゲーム数は7ゲームとする。

(6) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

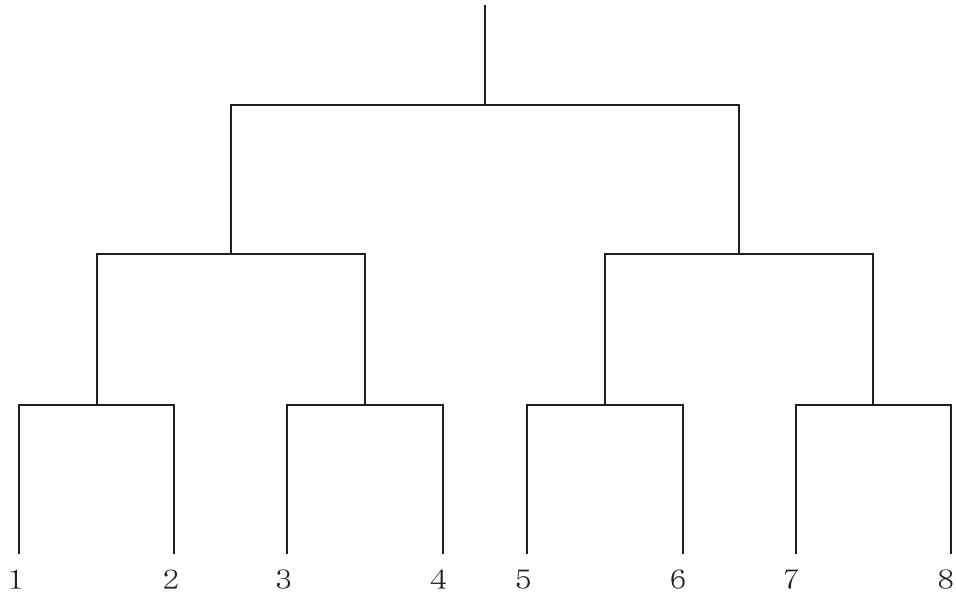
(第1日目) 11:00～ 開会式
11:30～ 団体戦

(第2日目) 9:00～ 開始式
9:30～ 個人戦

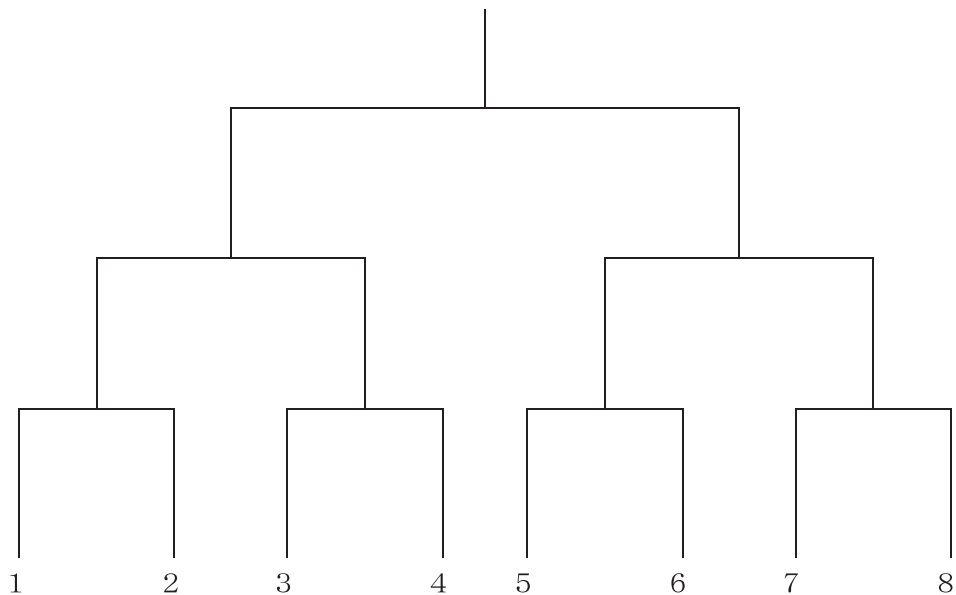
※ 個人第5代表決定戦は、準々決勝で敗れた4組で抽選を行い、トーナメント方式で決定する。

(7) 組合せ

[男子]



[女子]



【 卓 球 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内, 監督1名で編成)

* 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)

* 監督の他にアドバイザーとして, 1名のベンチ入りを認める。但し学校の場合は, 出場校の教職員(部活動指導員含む)または校長の承認を得た外部指導者(コーチ)に限る。

(2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

* アドバイザーとして, 選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し学校の場合は, 校長, 教職員(部活動指導員含む), 生徒, 校長の承認を得た外部指導者(コーチ)のいずれかとする。

2 競技規則

(1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。

(2) 試合球は40mm, ホワイトボール(硬式認定球)とする。

プラスチック球とする。

(3) ユニフォームは, J T T A A (日本卓球協会)のマークが入っている公認ユニフォームを着用する。

(4) ゼッケン

① 出場選手は, ユニフォーム背部に, 白布に選手名(姓)・県名・チーム名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。

② ゼッケンは, 日本卓球協会交付のものでもよい。

	25 c m	
選手名(姓)		12.5 c m
県名		4 c m
チーム名		6 c m

(5) 選手, 監督, アドバイザーに変更がある場合は, 監督者会議で「変更届」を提出すること。

3 競技方法

(1) 試合日程

<第1日目>

① 11:30 ~ 団体戦予選リーグ(5番まで)

② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

① 9:00 ~ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び代表決定戦(3点先取)

② 12:00 ~ 個人戦

(2) 団体戦

- ① 3チームずつのW組, X組, Y組, Z組の4リーグに分けて予選を行う。
- ② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し, 試合順序は次のとおりとする。

	(I)	(II)	(III)
W	A 1	B 2	C 3
X	B 1	C 2	D 3
Y	C 1	D 2	A 3
Z	D 1	A 2	B 3

※ 試合順序

第1試合 (II) - (III)

第2試合 (I) - (II), (III)の敗者

第3試合 (I) - (II), (III)の勝者

- ③ 予選リーグ終了後, 各リーグの1位・2位チームは, 決勝トーナメントへ進出する。
(1日目は, 1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

- * 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)
- * 同県チームは, 左右に分ける。

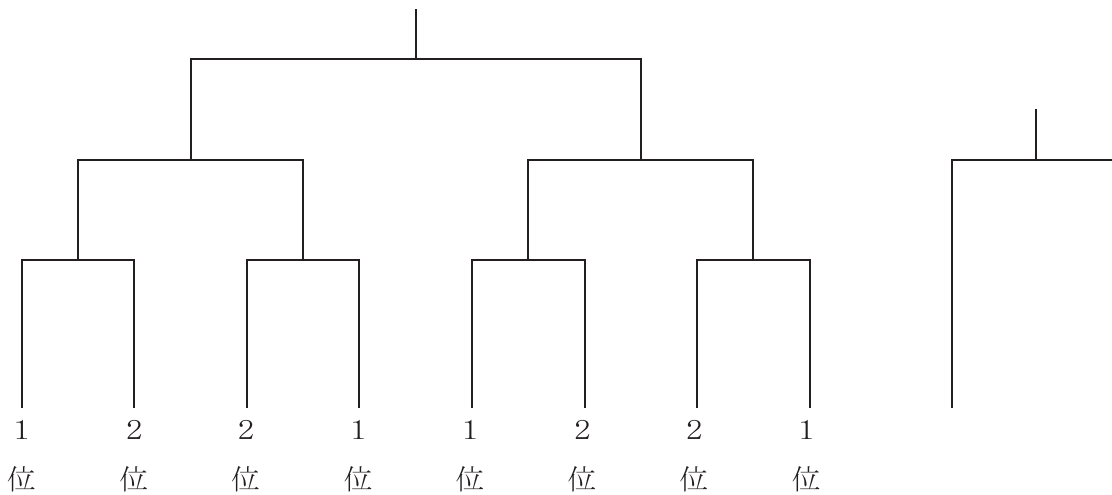
(イ) 各リーグの2位チームは, 次のことに考慮して抽選する。

- * 1回戦での同県対戦は避ける。
- * 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

- ④ 2日目は, 決勝トーナメント準決勝より始め, 決勝及び代表決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<代表決定戦>



- ⑤ 4シングルス・1ダブルスで, 3番目にダブルスをおく。
- ⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い, 決勝トーナメント・代表決定戦は3点先取法とする。
- ⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし, トーナメント方式による。

【バドミントン】

1 参加規程

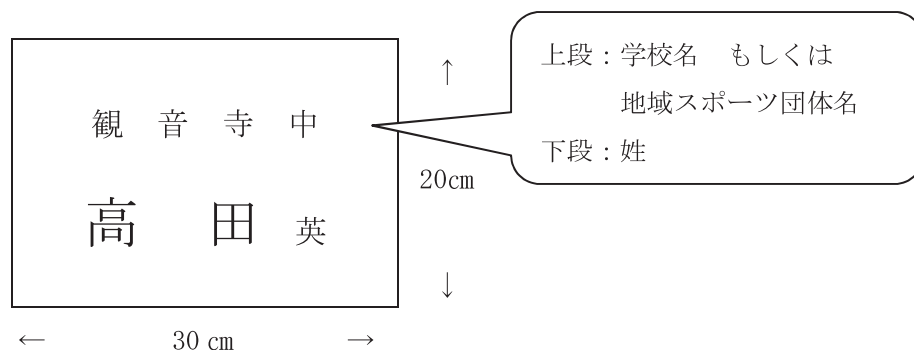
- (1) 各県男女とも次のとおりとする。

	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	合 計
団体戦	2	2	2	2	8
個人戦シングルス	3	3	3	3	1 2
個人戦ダブルス	3	3	3	3	1 2

団体構成 … 団体戦チームは監督 1 名，コーチ又はマネージャー 1 名，
選手 5～7 名を同一チーム所属選手で結成する。※必要最低選手数 5 名

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) シャトルは，室温に適した（公財）日本バドミントン協会第 2 種検定合格水鳥球を使用する。
- (3) 外部指導者（コーチ）については，所属校長が認めた外部指導者（コーチ）証を胸につけた者に限る。
- (4) 競技時の服装は，色つき着衣を使用する場合は，（公財）日本バドミントン協会審査合格ウェアとする。
- (5) 上衣の背面中央部には，たて 20cm，横 30cm の範囲内に所属チーム名及び姓の表示をすること。また，黒か紺の日本語（楷書）で明記すること。同姓の場合は，名前前の 1 字目を小さく入れる。



- (6) コーチは，マッチ（試合）にふさわしい服装で臨む事。チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパやサンダル等は禁止とする。

3 競技方法

- (1) 男女とも団体戦及び個人戦を行う。
- (2) 団体戦，個人戦ともトーナメント方式で行う。
- (3) 個人戦は，第 3 代表決定戦を行う。
- (4) 団体戦は，複 2 単 1 の対抗とし，複・単・複の順に行う。
(同一選手が，単と複，複と複を兼ねて出場できない)

(5) 個人戦は、単と複を兼ねて出場することはできない。

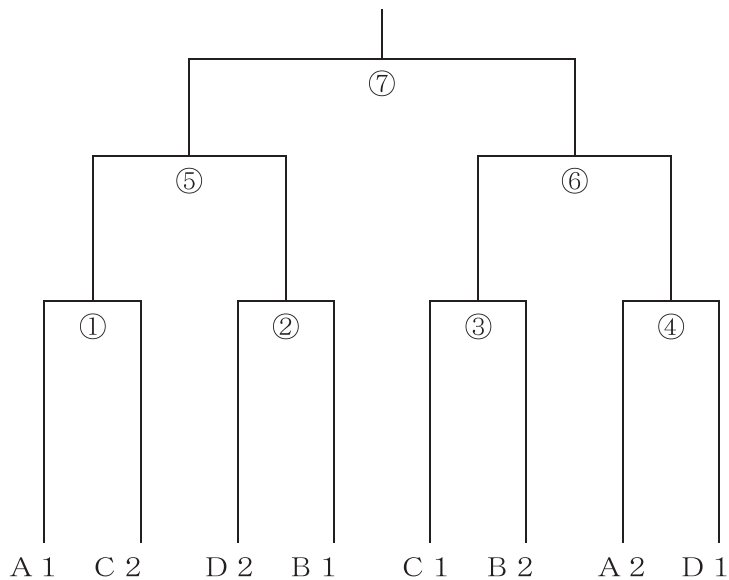
(6) 競技日程は、次のとおりとする。

① 1日目 開会式 団体戦

② 2日目 個人戦 閉会式

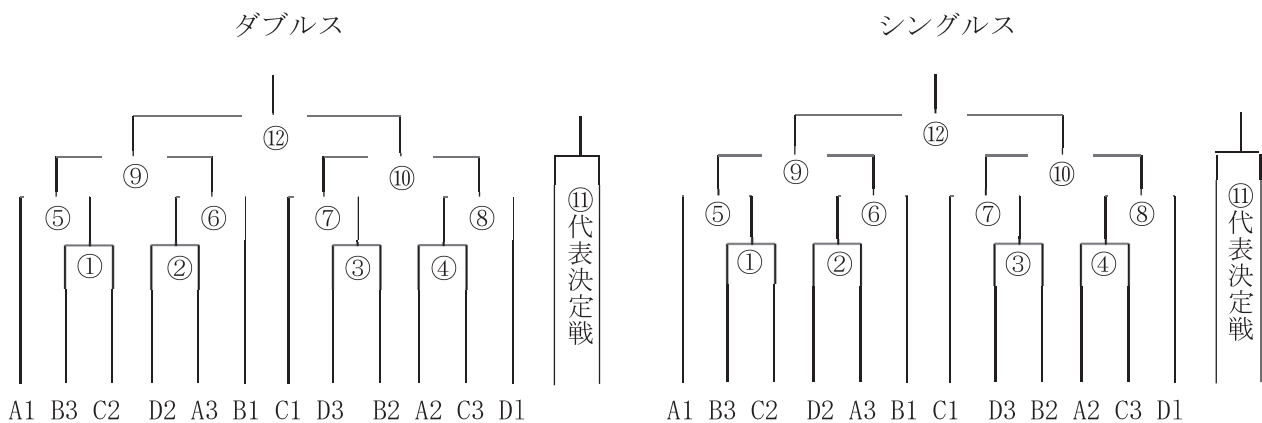
(7) 団体戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



(8) 個人戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



4 その他

(1) 団体戦における負傷・疾病などによる選手の変更は、「変更届」（理由を記入）を監督会議で提出すること。

(2) 個人戦における選手の変更は認めない。

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) プレイヤーは18名以内（スコアラー1名を含む）とし、他のベンチ入りは、監督1名、コーチ1名、引率責任者1名、合計21名以内とする。
- (3) フィールドイングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレイヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (4) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (5) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 同一チームの監督・コーチ・プレイヤーのユニフォームは、同色・同意匠でなければならない。また、背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、引率責任者及び監督は出場チームの代表者・校長・教員・部活動指導員とする。また、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。ただし、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）においては、該当しない。
- (7) コーチにはフィールドイングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (8) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガースを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ずスロートガード付きマスク、捕手ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (10) 1・3塁のベースコーチは、プレイヤーのみとする。
- (11) チームのメンバーは、声を出したり、動作で投球のコースを教えたりしてはならない。
- (12) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (13) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (14) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

※（公財）日本中学校体育連盟ソフトボール競技部申し合わせ事項
（2023（令和5年）4月1日）より抜粋

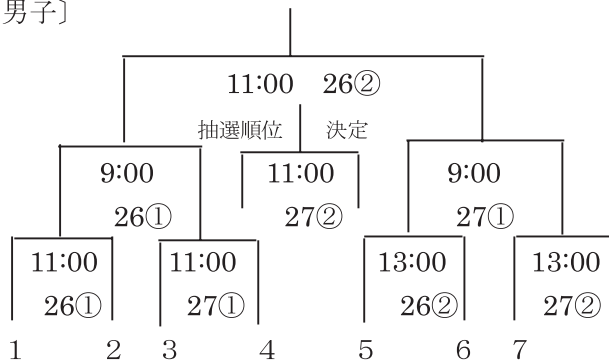
3 競技方法

- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は抽選順位決定戦を行う。
- (2) 試合会場は、次の通りである。なお、今年度は、開会式は行わない。

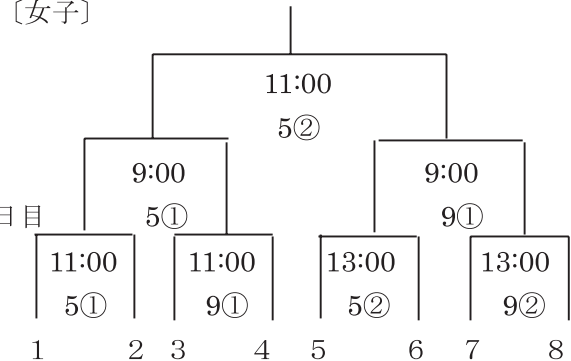
男子：丸亀土器川公園
（軟式野球場）
26 球場・27 球場

女子：丸亀土器川公園
（ソフトボール場）
5 球場・9 球場

(3) 組合せ 〔男子〕



〔女子〕



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。

【 柔 道 】

1 参加規程

(1) 団 体 戦

① チーム編成

各県男女各 2 チームとする。

男子……………監督 1 名、コーチ 1 名、選手 7 名以内とする。(3 名以上での出場も認める。)

女子……………監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名以内とする。(2 名での出場も認める。)

② 選手オーダーは、大将より体重の重い順に編成する。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。(一度退いた選手の再出場は認めない。)

(2) 個 人 戦

① 各県各階級 4 名で男子 32 名、女子 32 名、計 64 名とする。

[男子] [女子]

●50kg級 (50kg以下)

●55kg級 (50kg超～55kg以下)

●60kg級 (55kg超～60kg以下)

●66kg級 (60kg超～66kg以下)

●73kg級 (66kg超～73kg以下)

●81kg級 (73kg超～81kg以下)

●90kg級 (81kg超～90kg以下)

●90kg超級 (90kg超)

●40kg級 (40kg以下)

●44kg級 (40kg超～44kg以下)

●48kg級 (44kg超～48kg以下)

●52kg級 (48kg超～52kg以下)

●57kg級 (52kg超～57kg以下)

●63kg級 (57kg超～63kg以下)

●70kg級 (63kg超～70kg以下)

●70kg超級 (70kg超)

(3) 体重測定

① 団体戦・個人戦出場者の体重測定は、下記の時間内に競技会場で行う。

② 1 日目 8 : 10 ～ 10 : 40 (団体・個人体重測定)

2 日目 7 : 40 ～ 8 : 40 (個人体重測定・前日計量未実施者のみ)

※ 出場者は全員体重測定を受けなければならない。

2 日程

(1) 令和 5 年 7 月 29 日 (土)

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 開場 | 8:00 |
| ② 体重測定 | 8:10 ～ 10:40 |
| ③ 専門部長会 | 9:20 ～ 10:10 |
| ④ 審判会議 | 10:20 ～ 10:40 |
| ⑤ 監督会議 | 10:50 ～ 11:20 |
| ⑥ 開会式 | 11:30 ～ 11:50 |
| ⑦ 競技開始 | 12:00 |
| ⑧ 競技終了後 団体戦表彰式 | |

(2) 令和5年7月30日(土)

- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 開場 | 7:30 |
| ② 体重測定 | 7:40 ~ 8:40 |
| ③ 専門部長会 | 7:50 ~ 8:10 |
| ④ 審判会議 | 8:20 ~ 8:40 |
| ⑤ 監督会議 | 8:50 ~ 9:20 |
| ⑥ 競技開始 | 9:30 |
| ⑦ 競技終了後 個人戦表彰式及び閉会式 | |

3 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による。

(2) (公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯使用は、白線なしの黒帯を使用すること。

(3) 柔道衣は白色とする。

4 競技方法

(1) 団体戦

- ① 男女とも、4チームずつのA・B2リーグに分けてリーグ方式を行う。
- ② 各リーグに各県1位チーム2校、2位チーム2校を含み、同県が入らないように抽選する。
- ③ リーグ方式終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせ、決勝トーナメント方式を行う。

※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。

- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

- ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
- イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
- ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
- エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
- オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
- カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。

⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

- ア チーム間における勝ち数による。
- イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
- ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

⑨代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

⑩代表選で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

(2) 個人戦

①男女とも、各階級16名までによるトーナメント方式で行う。但し、参加人数が6名以内の場合はリーグ方式とする。

②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに差がついた時点で勝敗が決する。

5 柔道衣点検

(1) 公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。

①（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

(2) 柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

①布地は白（晒、太綾）とする。

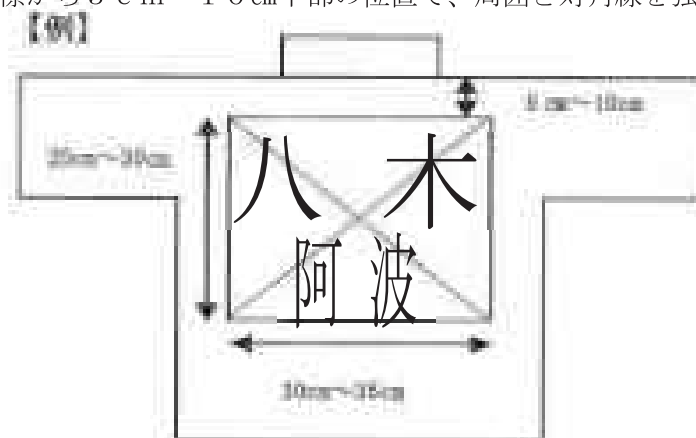
②サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。

③名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3とする。

④書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。

⑤文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。

⑥縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



(3) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(4) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

(5) 胸マーキングは、背中ゼッケンと一致していること。

6 その他

(1) 監督及びコーチは、次のとおりとする。

① 監督は、出場チームの代表者・指導者であること。

② 大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。但し、外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とする。1校1名とし、他校（チーム）と兼ねることはできない。

※ 大会運営に支障をきたす場合は、退場させることもある。

③ 監督及びコーチの服装は、審判員に準ずるものとする。

(2) 大会参加申込書提出後の選手の変更は、次のとおりとする。

① 団体戦選手の変更は、監督会議にて「変更届」（理由を記入）を提出する。【但し、疾病や傷害等、特殊な理由のみとする。】

② 個人戦選手・監督・コーチは、申込書提出後の変更は認めない。

(3) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

(4) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

イ 監督の資格を有していない外部指導者の場合

(ア) 監督をしたり、監督席に座ったり、試合場付近に立ち入ったりすることができない。その他の入場については制限しない。

(イ) 申込書の外部指導者名の欄に氏名を記入する。

③ 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)として参加する場合の参加生徒の引率・監督は、それぞれの団体の指導者とする。

(15) 外部指導者(コーチ)の帯同を希望する場合は、四国各県剣道競技部で申し合わせた外部指導者の取扱いについて同意した上で、「第61回四国中学校総合体育大会剣道競技 外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」を7月31日(月)までに大会事務局(松山市立椿中学校内)に提出する。様式については、香川県中体連剣道部ホームページ(<https://www.kagawa-chutairen-kendo.com/>)からダウンロードする。

3 競技方法

(1) 団体戦

- ① 4チームずつのA・B2リーグに分けて予選リーグ戦を行う。
- ② 各予選リーグ戦に各県1位チーム2、2位チーム2を含み、同県チームが入らないように抽選をする。
- ③ 予選リーグ戦終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて、決勝トーナメント戦を行う。
- ④ 試合は3分3本勝負とする。勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
- ⑤ 団体戦(予選リーグ戦)順位の評定は勝ち点による。(勝ち:1.0点、引き分け:0.5点、負け:0点)同じ勝ち点の場合は、勝者数、総本数の順で決定する。
- ⑥ リーグ戦1位が3チームまたは4チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。なお、試合順はリーグ戦と同じとし、試合毎に代表者の変更を認める。リーグ戦2位が3チームの場合も同様とする。
- ⑦ リーグ戦1位が2チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。リーグ戦2位が2チームの場合も同様とする。
- ⑧ 決勝トーナメント戦の勝敗は、勝者数、ついで総本数によって決定する。
- ⑨ 決勝トーナメント戦において、チームの勝敗が決しないときは、任意の代表者による代表者戦を1本勝負で行う。試合時間は3分、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。

(2) 個人戦

- ① トーナメント戦方式で行う。
- ② 試合は3分3本勝負、勝敗の決しない場合は、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

(3) 延長戦

個人戦および団体戦代表者戦の延長戦は、2分ずつ区切って行う。

- ・ 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外して休息・給水】
※上記を繰り返す。

【小 休 止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸。

【休息・給水】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は3分とする。

【 相 撲 】

1 参加規程

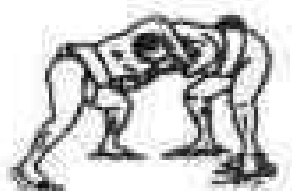
- (1) 団体戦 各県3チームとする。 選手5名（2名以上）（先鋒・中堅・大将・補員2名）
- (2) 個人戦 各県上位8名

2 競技規則

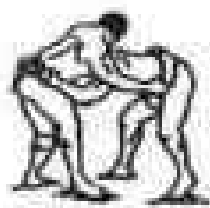
- (1) 時間は、3分を限度とする。
- (2) 禁じ技は、(公財)日本相撲連盟の「競技会規定及び審判規定」による。ただし、次の禁手(技)を加える。反則した場合は取直しとし、再度した場合は審判員の協議により負けとする。

○鴨の入れ首 ○首を脇の下に入れる ○さば折り ○かわずかけ ○反り技

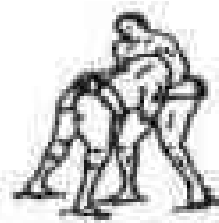
○相手の首をきめる ○極め出し・極め倒し



鴨の入れ首



廻を相手の胸より下にいれる



廻を相手の脇の下に入れる



さば折り



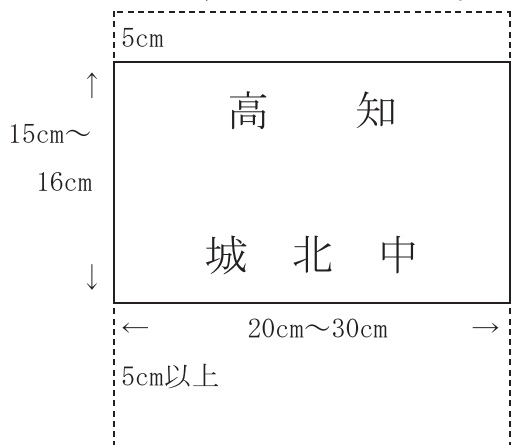
かわずかけ



廻反り

- (3) 交替選手が出場する場合は、本部の承認を要し、団体戦に限り前選手の位置を継承する。ただし、交替した選手は、再び出場することはできない。また、個人戦に欠場した者は団体戦も欠場とする。
- (4) 立合は主審のかけ声にて立つ。待ったはなしとし、1回目で必ず立つこと。双方とも両手をついて立ち合うこと。
- (5) 競技の審判に対する異議申立ては、担当の審判のみに許される。一度勝ち名乗りを上げて判定した後は、一切異議の申立ては認めない。
- (6) 選手は呼出しに応じて土俵に上がり、土俵の内側において立礼若しくは塵浄水を行い、土俵中央に進み、蹲踞して主審の合図により仕切にはいる。
- (7) 服装はまわし及びアンダーパンツ以外を身につけてはならない。
※ アンダーパンツをつかんではいけない。勝敗に影響する行為があった場合は、審判団の協議とする。
- (8) 負傷者は、包帯、サポーター、足袋等を身につけることができる。但し、支柱入りのサポーター、その他相手に危害を及ぼすおそれのあると認められるものについては、この限りではない。
- (9) 外部指導者(コーチ)・部活動指導員は、当該校の校長が認めた者に限る。
- (10) 手・足のつめを端正にすること。
- (11) タオルを準備しておくこと。

(12) ゼッケンの規定は、次のとおりとする。



- ※ 字画の太さは、1 cm位とする。
- ※ 輪にしないで、まわしにはさむようにする
- ※ 必ず県名を入れる。
- ※ 下地は単色の布とすること。

3 競技方法

(1) 団体戦

① 団体予選（各県1位チームと他県の2位・3位チームによりリーグ戦）を行い勝率、勝ち点で上位8チームを選出する。もし同率、同点となった時は、代表決定戦を行う。

（3チームの場合、トーナメント法で組合せ抽選）

② 上位8チームで決勝トーナメントを行う。

(2) 個人戦

予選リーグを行い、各グループの上位2名が決勝トーナメントに進出する。

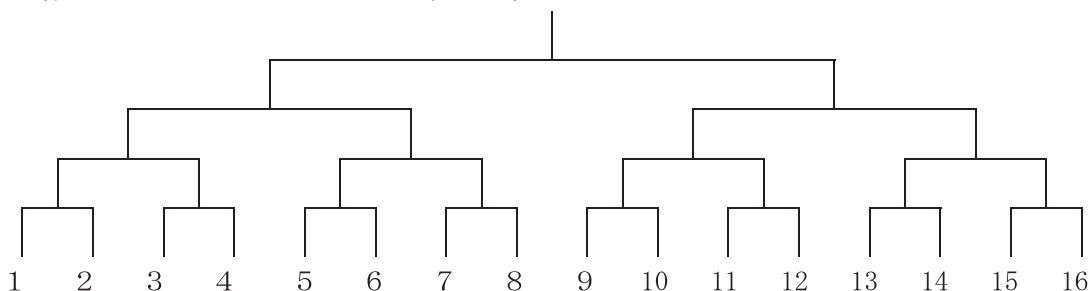
① 8グループによる予選リーグを行う。（県名（A～D）－順位）

aグループ	A-1	B-3	C-6	D-8	eグループ	A-2	D-4	B-5	C-7
bグループ	B-1	C-3	D-6	A-8	fグループ	B-2	A-4	C-5	D-7
cグループ	C-1	D-3	A-6	B-8	gグループ	C-2	B-4	D-5	A-7
dグループ	D-1	A-3	B-6	C-8	hグループ	D-2	C-4	A-5	B-7

※ グループ内で勝率が同じ場合は、決定戦を一度行う。ただし、勝負が決しない場合は、抽選で順位を決定する。

※ 県の事情により、8名以下の出場になった場合は、3名でリーグ戦を行うグループができる。（グループ内で勝率が同じ場合は、上記に同じ。）

② 決勝トーナメント（予選リーグ上位2名、計16名）



※ 各グループ1位通過者より抽選を行う。（奇数番号に振り分け）続いて、2位通過者が抽選を行う。（偶数番号に振り分け）

※ 抽選は、各グループ1位から順番に予備抽選を行い、その後本抽選を行う。各グループ2位についても同様とする。

その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。

【 テ ニ ス 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本テニス協会の競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（黄色）を使用する。

(3) ユニフォームは、上はゲームシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スカート（ショートパンツ）を着用すること。（全国中学生テニス選手権大会の規定に準ずる）

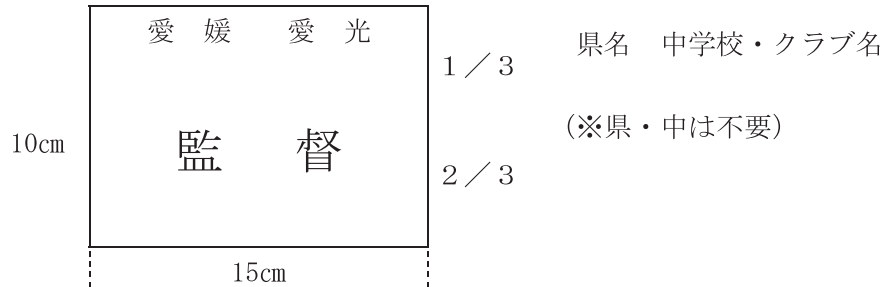
〔注意〕 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、公認メーカーのものを使用する。

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) 監督がベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。

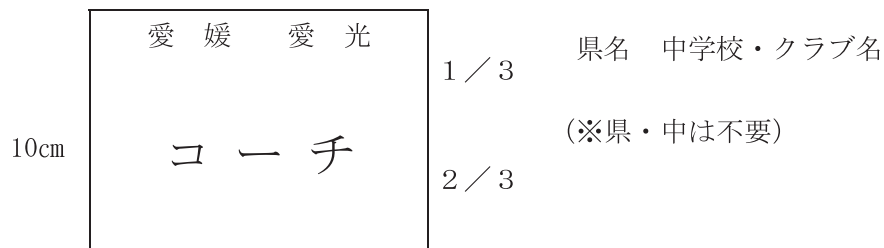
また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中 of ゼッケンは不要とする。

〔監督のゼッケン〕



(6) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

〔外部指導者（コーチ）のゼッケン〕



(7) 選手変更について

団体戦で、申し込み後メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。

ただし、ハチマキの端の部分に「学校かクラブ名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

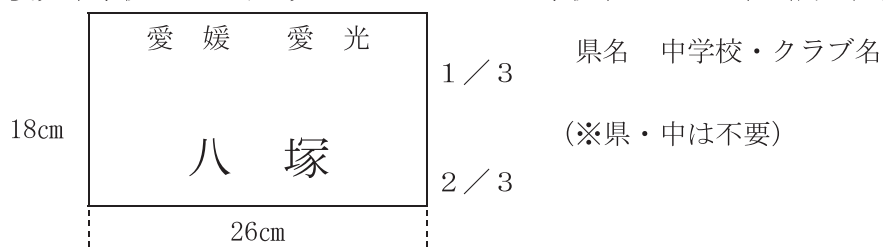
(9) 背中 of ゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック、マジックテープ、安全ピンで止めることは可とする。

① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に県名、学校かクラブ名、姓を記述する。

また、県名の「県」、中学校の「中」の文字はつけないものとする。また、県名と学校・クラブ名の間は空白とする。

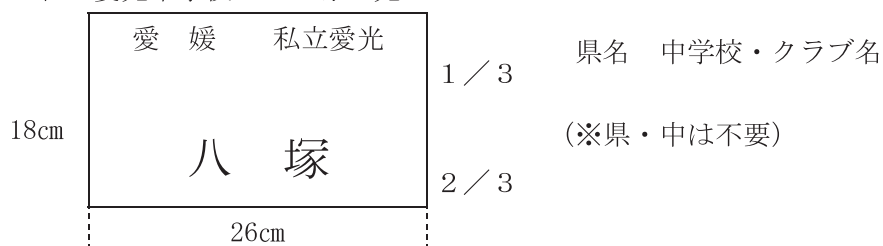
- ② ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。
 シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光 クラブチーム⇒学校名をクラブ名（例：山田TC）



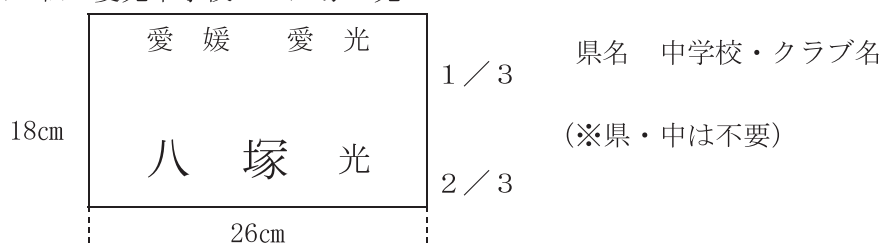
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例2》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光



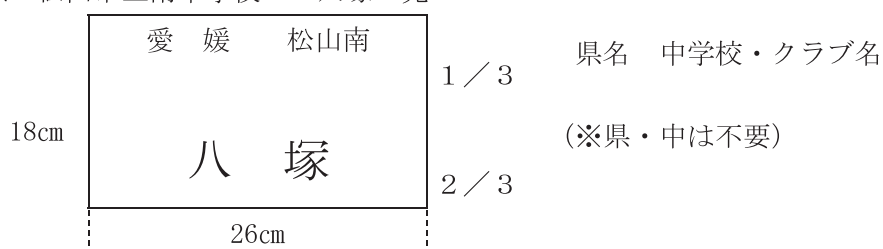
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例3》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》愛媛県 松山市立南中学校 八塚 光



- (10) 第50回日本中学生テニス選手権大会への出場権は、学校関係の上位2校になります。

テニス競技は、日本中学校体育連盟に加盟できていないためクラブチームの参加はできません。

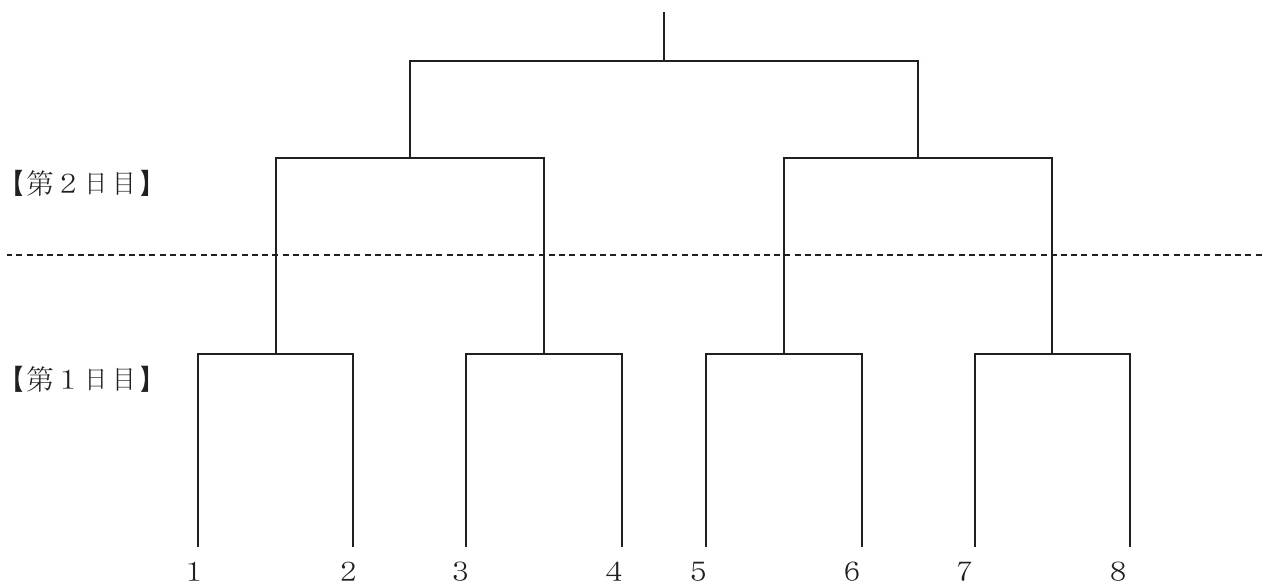
3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各8校（監督1名とシングル3、ダブルス2の選手7名で1チーム編成 登録10名以内）によるトーナメント方式とし、状況によって3位決定戦までを行う。
- (2) 全試合6ゲームズプロセット（6-6後タイブレイク）
- (3) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

競技開始 5日 13:30 ~ 6日 10:30 ~

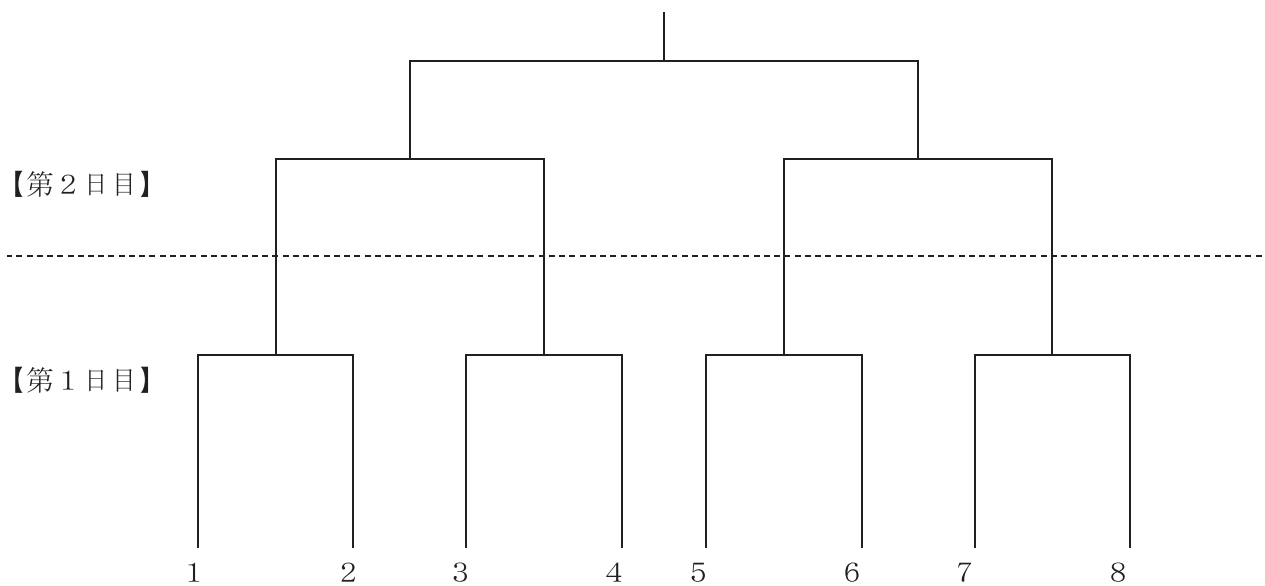
(4) 組合せ

[男子]



★ 3位決定戦

[女子]



★ 3位決定戦